

## 夏季講座 ユネスコスクール研修会

8月27日「夏季講座ユネスコ研修会」が行われ、市内外から多くの先生方に参加をいただきました。講話では、岩本 渉先生(文部科学省国際交渉分析官)より「日本におけるESDの推進について」等の話をさせていただきました。グループ協議では、地区ごとに「自校がめざすESDにおける児童生徒の姿」について協議を行いました。その中では、自校の取組と児童生徒の姿について積極的な意見交換が行われました。短い時間での協議でしたが、まだ十分に明確でないめざす児童生徒像をつかむ機会になったのではないのでしょうか。



指導・助言では、福岡教育大教授 石丸哲史先生より「郷土の素材を教材化していく考え方や進め方」について、奈良教育大副学長 加藤久雄先生より「ESDの学習の目標として」等について話をさせていただきました。

ESDの取組が充実してくる2学期、目指す子どもの姿を具体的に持ちながら取り組んでいきたいものです。

## グループ協議の主な内容

### 【自校がめざすESDにおける児童生徒の姿】

- ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度を参考に
- 環境教育・福祉教育・国際理解教育・郷土の文化、人権教育等の観点から
- 学習の姿から(気付き、相手・地域とのつながり)から
- 将来につながるための姿(持続可能な社会づくりに必要な資質や行動)

### 【取組の課題】

- ESDをテーマとした職員研修が必要である。(ユネスコスクール加盟校として)
- 総合的な学習の時間とESDの違いが明確になっていない。
- 小中連携を含めた9年間の内容の検討が必要である。
- 教育課程上の位置づけを明確にする必要がある。(教科・領域の関連)
- ESDにおける単元構成の検討(児童生徒の姿につながる)
- ESDの自校の活動をどのように発信していくかが明確でない。

協議会では、各学校からの積極的な意見が出され、有意義な協議をすることができました。ESDについては、自校のESDを再検討され、共通理解のもと推進をしていただければと思います。



## 大牟田市立米生中学校の実践

### 職業の学びを通して

本校2年生は、春休みを使って働く家族や地域の方々には職業についてインタビューし、4月に報告会をしました。自分たちの知らないさまざまな職業や、それぞれの仕事の大変さややりがいなどを知ることができました。そして、6月に職場体験学習を行い、実際に職業を体験することによって自分の言動に責任を持ち、人とのつながりを大切に協力して取り組まなければならないことの重要性を実感しました。



## 大牟田市立駿馬南小学校の実践

### 地域の方々との「プランター作り」を通して

駿馬南小学校では、“自分たちが住む町の人とのつながり”ということを中心に各学年学習に取り組んでいます。早速、6月には、4年生と地域の方々が一気に花々をきれいにプランターに植え付け、公民館や地域の病院・施設などに届けました。“花をきれいに丈夫に植え付けるためにはねえ…”と楽しく会話をしながら地域の方々と一緒に思いを込めて取り組みました。

…この3週間、ぼくは心をこめて「メランポジュウム」を育てました。そして、今日仕上げをするときがきました。どのせつにあげてもいいようにりっぱなプランターにしました。…

(子どもの日記より)

このような取り組みを通して、“人と人とのつながりの大切さ”を学ばせたいと思います。

